

R5事業実施プロセスシート

上下水道局

No.	所管部課	基本計画		総合戦略	事業名	取組名	取組の概要	年度目標	年度計画	進捗度	進捗状況	関係所管
		視点・政策	施策									
1	上下水道局	(視点)暮らし(政策)住む	5. 安全で安定した上下水道の環境整備を促進し、健全な事業経営に努めます	水道事業	水道通水70周年記念事業(イベント)の実施	水道通水70周年記念事業 水道通水70周年という節目にあわせ、記念のイベントを上下水道局が一丸となって実施する。また、安心・安全な水道事業をPRし、市民(お客様)の水道に対する理解と関心を深める。(令和6年2月実施) テーマ おいしい水 サステナブルな未来 - これまでもこれからも、 ずっと送る続ける 安心と安全 -	【令和5年度】 水道通水70周年記念事業実施に向け、事業内容の具現化 令和6年2月に事業(イベント)を実施	4月～5月:実施するイベント内容を決定 5月:各イベントのスケジュール作成 6月～R6.1月:イベント開催に向けた準備 R6.2月:イベント開催	★	4月:周年事業打ち合わせを3回開催し、以下の事項を実施・決定 ・開催日:R6年2月25日(日)・開催場所:アステ川西ひびう広場、ベドストリアンデッキ南・北広場・管理職の役割分担及び各イベントの担当課 ・実施イベント内容に対する局職員全員からの意見徴収。 5月:周年事業全体会(管理職・PTメンバー等全員参加)を開催 ・PTメンバーに実施予定の各イベント内容のスケジュール作成を依頼。 6月:第2回周年事業全体会(管理職・PTメンバー等全員参加)を開催 ・各事業の詳細スケジュールを作成。・スケジュール進捗にあたり、今後の課題・問題点を共有。・局の70周年記念ロゴを作成することを決定。 7月:第3回周年事業全体会に向けた準備 ・ロゴマークの案を6案作成し、局内投票で決定を行う準備を進める。・各事業のスケジュールを進めるにあたっての課題・問題点の整理。 8月:第3回周年事業全体会(管理職・PTメンバー等全員参加)を開催 ・局の70周年記念ロゴを決定。・イベント実施にあたり必要物品等の整理を行い、経費の見積もりを依頼。 9月:第4回周年事業全体会(管理職・PTメンバー等全員参加)を開催 ・会場をアステ川西ひびう広場、ベドストリアンデッキ南、アステホールとし、各イベントの配置図を決定。 ・各イベントの概算経費を算出。全体予算100万円の範囲内で実施できるよう調整。 10月:第5回周年事業全体会に向けた準備 ・会場の各エリア・ブースの看板等の設置に向けた準備を進める。・フードコート実施のための出店者を局HPで依頼。 11月:第5回周年事業全体会(管理職・PTメンバー等全員参加)を開催 ・職員配置人数を算出し、当日の人員調整を進める。 ・PTメンバーに各イベントの運営マニュアル及び必要物品一覧の作成を依頼。 12月:第6回周年事業全体会(管理職・PTメンバー等全員参加)を開催 ・各イベントのマニュアル及び必要物品一覧について確認し、今後の進め方を決定 ・フードコートについて、応募してくれた全10店舗の参加を決定 ・運営マニュアルについて、担当名等を記載した詳細マニュアルの作成をPTメンバーに依頼 1月:第7回周年事業全体会(管理職・PTメンバー等全員参加)を開催 ・各イベントの人員配置を決定 ・能勢電鉄の70周年ロゴマークヘッドマーク車両の運行開始 ・事前準備から撤去までの全体フロー詳細マニュアルの作成をPTメンバーに依頼 2月:水道通水70周年記念イベント開催(R6.2.25(日)) ・来場者1,500人(公表人数)で多くの賑わいを創出。市民に水道への理解を深めてもらえた。 ・事業費は105万円で、ほぼ予算通りに実施。 ・ピンゴ大会や利き水コーナーが特に人気を集めた。		
2	上下水道局	(視点)暮らし(政策)住む	5. 安全で安定した上下水道の環境整備を促進し、健全な事業経営に努めます	下水道事業	下水道通水50周年記念事業(イベント)の準備	下水道通水50周年記念事業 下水道通水50周年という節目にあわせ、記念のイベントを上下水道局が一丸となって実施する。また、安心・安全な下水道事業をPRし、市民(お客様)の下水道に対する理解と関心を深める。(市制70周年にあわせ、令和6年8月実施) テーマ 循環のみち サステナブルな未来 - これまでもこれからも、 ずっと守り続ける 安心と安全 -	【令和5年度】 下水道通水50周年記念事業の実施に向けた事業内容の具体化 【令和6年度】 令和6年8月に事業(イベント)を実施(令和6年度継続事業)	4月～5月:実施するイベント内容を決定 5月:各イベントのスケジュール作成 6月～R6.3月下水道通水事業と並行して準備 R6.4月～7月:イベント開催に向けて本格的に準備 R6.8月:イベント開催	→	4月:周年事業打ち合わせを3回開催し、以下の事項を実施・決定。 ・管理職の役割分担及び各イベントの担当課 ・実施イベント内容に対する局職員全員からの意見徴収 5月:周年事業全体会(管理職・PTメンバー等全員参加)を開催 ・PTメンバーに実施予定の各イベント内容のスケジュール作成を依頼。 6月:下水道通水70周年イベントと同様。 ・市政70周年記念事業事務局とデザインマンホールの活用について打ち合わせを実施。市と協力した事業の進め方を今後も情報共有しながら進めていく。 7月:下水道通水70周年イベントと同様。 ・市政70周年記念事業事務局とデザインマンホールの作成について、スケジュールを共有する。 8月:下水道通水70周年イベントと同様。 9月:下水道通水70周年イベントと同様。 10月:下水道通水70周年イベントと同様。 ・市政70周年記念事業事務局とデザインマンホールの作成について、スケジュールを再共有する。 11月:下水道通水70周年イベントと同様。 12月:市政70周年記念事業事務局とデザインマンホールの作成について、発注までの工期等のスケジュールについて調整。 1月:市政70周年記念事業事務局とデザインマンホールのデザイン案について調整。 2月:デザインマンホールの設置日を3月28日(木)【三ツ矢の日】とし、設置に向けて準備を進める。	市制70周年記念事業事務局	
3	経営企画課	(視点)暮らし(政策)住む	5. 安全で安定した上下水道の環境整備を促進し、健全な事業経営に努めます	水道事業 下水道事業	委託業務の検証・見直し	【現状】 令和4年度での取り組みにより、令和5年度から修繕工事や鉛管改良、漏水調査などの維持修繕業務の一元化を行った。 【取組内容】 令和6年度より、検針及び閉開栓の営業部門業務を、現在包括委託している滞納整理業務に含める。	滞納整理・窓口受付業務に検針・閉開栓業務を加えた包括委託契約の締結に向けて、プロポーザル方式による業者選定を実施する。	4月～5月:業者訪問(2社以上) 5月～8月:仕様書、評価表等の作成 8月～9月:プロポーザル実施 9月末:包括委託契約締結 10月以降:契約予定業者と令和6年度の業務に向けて準備を進める	★	4月:業者の訪問等を実施。現業者を含め、3社がプロポーザルへ参加するとの意向確認を行った。 5月:仕様書・評価表等の作成に向けて、課内の担当全員で打ち合わせを週2回行うこととし、計3回実施した。前回の仕様書をもとに、日常業務での委託業者とのやり取りから、課題等を話し合い、今回の仕様書に記載すべき内容を具体化している。 6月:課内の担当全員で打ち合わせを週2～3回実施した。現状業務については、実務を通じて補正すべき内容を盛り込んだ。また、追加業務である検針業務及び閉開栓業務については、他市の仕様書等を参考にしつつ、実際に行っている業務内容とすり合わせを行いながら、作成を進めている。 7月:課内の担当全員で打ち合わせを実施し、仕様書・実施要領・評価基準の案を作成し、8月にプロポーザル実施に向けて準備を進めた。 8月:公募型プロポーザル方式による公募を実施。1社が参加。 9月:上下水道局が設置する評価委員会において、業者からのプレゼンテーション等による審査を実施。審査の結果、現業者である第一環境樹が、委託先候補者として決定。契約締結に向けて準備を進めている。 10月以降:令和5年11月6日(月)に契約締結。 ・履行期間:令和6年4月1日から5年間 (契約締結日から令和6年3月31日までは準備期間) ・契約金額(税抜):569,840,000円 ※債務負担金額:592,800,000円から△2,316万円減額 令和6年度の業務に向けて準備を進めていく。		
4	水道課	(視点)暮らし(政策)住む	5. 安全で安定した上下水道の環境整備を促進し、健全な事業経営に努めます	水道事業	水道基幹施設再構築基本計画策定	水需要が減り続けることが想定されることから、将来における水源の在り方について、久代浄水場の改築・更新も含めて検討し、基本計画を策定する。	業務量による定量目標(R5.3月:25%) 6月:75%完了 8月:90%完了 9月:100%完了	4月～5月:川西市水運用基本計画の策定 5月～6月:多田院・萩原台・上大原配水区域基幹施設再構築の策定 6月～8月:官民連携手法導入検討策定 8月～9月:まとめ・照査	★	4月:局内協議(4/28)(4月末 進捗率30%) 5月:局内協議を受けて資料修正(5月末 進捗率40%) 6月:局内協議(6/28)(6月末 進捗率75%) 7月～8月:報告書作成中(7月末 進捗率85%) 9月:局内 報告書説明(9/22)(9月末 進捗率95%) 関係機関との協議に日数を要したため工期延伸((9/29⇒11/17) 11月:11/6完了		
5	下水道課・ポンプ場	(視点)暮らし(政策)住む	13. 安全で安定した上下水道の環境整備を促進し、健全な事業経営に努めます	下水道事業	エネルギー環境の検討と改善	経費削減に向けての再生可能エネルギーの導入検討する	太陽光発電を利用した川西市ゼロカーボンシティ宣言に寄与し、あわせて経費削減に向け検討する。	雨水施設太陽光パネル設置(加茂雨水ポンプ場) 4～5月:調査・検討 6～7月:概算金額算定 8月:取りまとめ・方針決定 9月:施設改築更新スケジュール検討	★	4月:太陽光業者へ提案資料の依頼など調査を実施。 5月:太陽光業者からの提案資料受領し、詳細検討を実施。 6月:設置後30年間の維持管理費を含めた概算金額算定・検討を実施。 7月:補助事業の活用も含め事業化の検討等、取りまとめを実施。 8月:事業化の方針検討を実施。 ・建設・維持管理コスト、補助事業の活用など検討の結果、発電量(設置面積)や補助採択条件(蓄電池・売電等)の制約を受け、LCC効果等の費用対効果が見込めず事業化を見送る。		